

登録コード	A3591316	開講年度	2026				
授業科目	プレゼンテーション演習Ⅰ					担当教員	三谷 壘一
英文授業名	PresentationⅠ						
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年後期
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	
備考							
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2022Aカリ，2021Aカリ，2020Aカリ，2019Aカリ						
	【2022年度以前カリ対象】専門的な知識や研究能力を修得している					⇔	・自分の研究分野に関連した論文を分かりやすく説明できる。 ・論文から、自分の研究テーマに応用できそうな内容を抽出できる。
	【2022年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					⇔	・自分の研究分野が持続可能社会にどのように貢献するのかを説明できる。
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024Aカリ，2023Aカリ						
	【2024年度以前カリ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					⇔	・自分の研究分野に関連した論文を分かりやすく説明できる。 ・論文から、自分の研究テーマに応用できそうな内容を抽出できる。
	【2024年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					⇔	・自分の研究分野が持続可能社会にどのように貢献するのかを説明できる。
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本授業では、上級生のプレゼンテーションを聴講するとともに、研究計画の発表につながる論文の紹介を1回行う。プレゼンテーションの作成に必要なスライドやポスターの作成方法について学ぶ。作成方法は指導教員が1から教えるのではなく、まずは①自分で試行錯誤して作成する。②困った箇所は上級生や指導教員に助言をもらう。③作成したプレゼンテーション資料を研究室内で発表して、内容の指摘を受ける。④指摘部分を理解し次の資料作成や発表の改善に繋げる。といった流れである。						
(5)授業計画	英文の学術論文を読み、その内容を分かり易くスライドにまとめたものを発表する（1回）。授業の最終回に授業アンケートを実施する。						
(6)自主学習の指針	自主学習では下記の参考書の使用を薦める。また、各回で配付される上級生が作成した発表資料なども活用して自主学習に役立ててもらいたい。						
(7)成績評価の基準	①学術論文の内容が理解できているか、②他人が見た時のスライドの見やすさ、③質問に対して正確に対応できているか。この3点について総合的に評価します。目安としては、上記の授業の達成目標について、標準的達成レベルにあれば80点、理想的達成レベルにあれば100点とします。なお、成績評価を得るには、同年度の生命機能科学コースの専攻研究論文発表会と食品生命科学分野の修士論文発表会を聴講することを必須とする。						
(8)事前事後学習の内容	英語論文を熟読して内容を理解すること。昨今、英語論文の自動翻訳サイトが普及しているが、専門分野の背景を理解しないまま自動翻訳に頼り切ると話が繋がらない箇所は多々生じる。その点を留意し、聴講者が理解できるように自分で発表原稿を吟味する必要がある。自分で理解できない発言は、聴講者にも理解が得られないことを覚えておくこと。プレゼンテーションに関する専門書を使って事前に学習すること。						
(9)テストやレポートの予定	なし						
(10)成績評価の方法	①限られた時間内に内容をまとめられているか、②発表した学術論文の内容を理解できているか、③他人が見た時のスライドの見やすさ、④質問に対して正確に対応できているか、の4点について総合的に評価します。目安としては、上記の授業の達成目標について、標準的達成レベルにあれば80点、理想的達成レベルにあれば100点とします。						
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時、質問等に応じる。						
(12)履修上の注意	出席が2/3に満たない受講者には、単位を認定しない。						
【教科書】	指定しない						
【参考書】	これから学会発表する若者のために -ポスターと口頭のプレゼン技術- （酒井聡樹著、共立出版） 学生・研究者のための伝わる！学会ポスターのデザイン術 （宮野公樹著、化学同人）						